

多様な人とかかわる中で、自他のよさを認め合い、協調して学び、新たな自分を発見できる子どもの育成

学校通信 ひがしやま 第41号	発行日 令和6年9月2日(月)
	発行者 別府市立東山幼稚園 別府市立東山小学校 別府市立東山中学校 校(園)長 谷川 芳明

○校歌の歌詞について。

着任して、校歌を歌うたびに思っていたことがありました。1番「由布より開ける～」、3番「志高の湖の～」はわかりますが、2番「伊保志やまじ」の伊保志って何？

答えは、旧中学校跡地から800メートルほど先の「谷」のあたりを「伊保志渡(いぼしわたり)」と言い、「伊保志の木」があって、赤い実をつけていたそうです。

ちなみに、この「答え」は第2回学校運営協議会に出席していた大野泰徳さんに教えていただきました。同じ「校歌」を歌っていても、地域の方々だけが思いをはせる風景があることを感じました。

★★

○大分県立歴史博物館（宇佐市）出前講座の実施について。

8月28日(水)3、4限に児童対象(途中から園児も参加)に実施しました。歴博から職員4名が来校され、「埴輪づくり」をしました。(材料費等無料)



完成したお互いの作品を評価しあう場面もみられ、「可愛いね」と友だちにほめられて、喜んでいる男の子の表情が印象的でした。



それぞれに「表情」、「格好」が全く異なる「はにわ」が出来上がりました。子どもたちの粘り強さと創造力に驚き、感心しました。午後の学校運営協議会に出席していただいた委員の皆さんにも、作品を見ていただきました。最後の校長挨拶で「今日、学校にきてよかったなあと考えた人、手をあげて」と聞いたら、子どもたち、全員、元気よく挙手しました。子どもたちのために、このような機会をこれからも、設けていきたいと思ひます。